

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】

都道府県名	福岡県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	小郡市立 のぞみが丘小学校								教員数
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	45
学級数	5	5	5	5	5	4	1	30	
児童数	187	163	191	178	182	159	2	1062	

研究の概要

1. 研究主題

確かな学力を身につける学習活動の創造 ～個に応じた指導の工夫改善を通して～

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

- ・1～6年・国語  
全教科の基礎・基本となる言語能力の育成のため
- ・3～6年・理科  
児童に対する実態調査の結果から、身近な自然現象への興味・関心を高めるため

(2) 年次ごとの計画

平成14年度

テーマ  
基礎・基本を身につける学習活動の創造  
研究の見通し（仮説）  
子ども一人ひとりの実態に応じた発展的・補足的な学習の工夫、そのための指導体制の工夫改善、そして評価を生かした指導の改善等の個に応じた指導の工夫を図っていけば、子ども一人ひとりに基礎・基本を身につける学習活動が展開できるであろう。

研究の内容・方法

- ・国語 読むこと、理科 C宇宙と地球 を中心に
- ・発展的な学習・補足的な学習の意味と教材の開発
- ・教科担任制を生かした指導体制の工夫
- ・単元における評価活動の工夫

平成15年度

テーマ  
確かな学力を身につける学習活動の創造  
「生きる力」を培うという考えから昨年度のテーマを変更  
研究の見通し（仮説）  
発展的・補足的な教材開発の視点、個に応じた指導方法の工夫改善、そして自己評価を重視した指導の改善等の工夫を図っていけば、子ども一人ひとりに確かな学力を身につける学習活動が展開できるであろう。

研究の内容・方法

- ・国語 書くこと、理科 A生物とその環境 を中心に
- ・発展的な学習・補足的な学習における教材の開発
- ・指導形態・指導体制の工夫
- ・自己評価活動・自己選択活動の工夫

平成16年度

テーマ  
確かな学力を身につける学習活動の創造  
研究の見通し（仮説）  
各教科において評価規準を見直し、評価を生かした教材の開発や指導体制・指導方法の工夫を進め、指導の充実を図れば、子ども一人ひとりが確かな学力を身につける学習指導の日常化を進めることができるであろう。

研究の内容・方法

- ・国語 話すこと・聞くこと、理科 B物質とエネルギー を中心に
- ・発展的な学習・補足的な学習など個に応じた指導のための教材の開発
- ・個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫
- ・児童の学力の評価を生かした指導の改善

(3) 研究推進体制

<ul style="list-style-type: none"> <li>・主題研修研究推進委員会（各学年1名）</li> <li>・フロンティア教科部会（国語部・理科部）</li> <li>・学年部会・ブロック部会</li> <li>・教科部会</li> </ul>	学年への連絡・調整・推進 教科における成果と課題 授業実践を通しての検証 他教科への広がり
--	--

平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

・学力検査結果（下の資料）の総合正答率からいうと2%の伸びが見られ、個に応じた指導の工夫改善を行ったことで、確かな学力の定着が図ることができた。  
 ~平成13・14年度観点別正答率（国語）~

観 点	全国比(13年)	全 国 比 (14年)	
関心・意欲・態度	98	97	
表現の能力	102	話す・聞く能力 102	読む能力 105
理解の能力	103	書く能力 106	
知識・理解・技能	103	104	
総合正答率	102	104	

2. 今後の課題

- ・評価システムの確立（評価方法，自己評価能力）
- ・発展的・補充的な学習のための教材開発
- ・子どもの発達段階に応じた指導体制の整備と確立

学力等把握のための学校としての取組

- ・毎時間の授業における，評価規準をもとにした評価補助簿の活用
- ・毎時間の子どもによる自己評価活動の工夫
- ・定期的な学力検査の実施（1月に国語・算数・理科について実施）

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・ 4月15日 懇談会時に保護者への説明
- ・ 6月24日 学力向上フロンティア公開授業
- ・ 10月27日 学力向上フロンティア実践交流会  
 （研究成果普及のためにパンフレットを作成し配布）
- ・研究成果普及のために、フロンティアティーチャーとして実践交流会で学力向上の取り組みについて発表。とくに自己評価活動の取り組みについて取り入れたいという声が多かった。
- ・学級・学年・学校だより等での保護者への啓発。
- ・研究の成果普及のために実践事例集を作成し、近隣校へ配布予定。（本年度中）

【新規校・継続校】	15年度からの新規校	14年度からの継続校	
【学校規模】	6学級 13～18学級 25学級以上	7～12学級 19～24学級	
【指導体制】	少人数指導 一部教科担任制	T・Tによる指導 その他	
【研究教科】	国語 生活 体育	社会 音楽 その他	算数 図画工作 理科 家庭
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】		有 無	